

令和7年度 東京女子医科大学看護学部 学校推薦型選抜試験（小論文）  
問題用紙

受験番号	
------	--

氏名	
----	--

<問題>

本学の看護学部の前身である看護短期大学の設立に尽力し、開学後もしばらく教鞭をとった湯槇ますは、近代看護の基礎を築いたナイチンゲールや体系的な看護理論を打ち立てたヘンダーソンの本を、日本語に訳した人としても知られています。湯槇は本学を退職した後に出版された『グロウイング・ペイン』という本の中で、看護学と医学は別物であるとし、次のように述べています。

「看護や看護学への情熱は、看護する中で迷い苦しみつつも看護する喜びを手にしたものでなければ、本当には共有できない」（湯槇ます『グロウイング・ペイン — 拓けゆく看護の中で』日本看護協会出版会，ii，1983年）

湯槇の言う「看護する喜び」をあなたが本当の意味で手にするのは、看護師になってからかもしれません。しかし、看護師を志すものとして、「看護する喜び」に思いを馳せることは、大切なことだと言えるでしょう。あなたは「看護する喜び」を、どのようなものだと思いますか。これまで経験してきたことをふまえ、想像でも構いませんので、あなたの考えを解答用紙に800字以内で記述して下さい。